



B - S T Y L E

VOL.13

Spring season

《 暮らし方のコンセプトメッセージ 》

Message from harmony-life

Breeze.....四季のうつりかわりを感じる風の音、風の温度、風の道。
 Breath.....心も体も深呼吸できる健康的な場所、リラックスの時間。
 Beauty.....日常の中で触れ、愛おしみ、感性を磨く不変の美。
 Built-in.....機能性と暮らしやすさを考えたオーダーメイドの設備。

新緑の季節：・新たな大地の生命が芽生える季節がやってきました。「ワクワク」という言葉がピッタリのなぜか元気が出る季節ですね。

前回、新年号で少し『スローライフ』について触れましたが、スローライフの語源ともいうべき『スローフード』の事覚えていますか？そう、フーストフードの広まりで薄れつつある地域の食文化を守るというイタリアで始まった文化運動です。そしてスローライフの提唱する暮らし方もこのスローフード的価値観そのものです。スローフードでは自分達が暮らす土地で採れた食材をその土地にあった料理にして、その食材やそれらを育んだ大地や太陽に感謝しつつ、ゆつくりと楽しみながら食べる事を勧めています。

こうした暮らし方を快適な空間で実現する為にスローライフが提唱できること・・・それはスローフードを楽しめるキッチンライフです。実はキッチン空間はスローライフの仕事の中でも最も得意とする分野の一つでもあります。



それはスローライフでプロデュースする住宅の多くにオーダーキッチンを設置しているからです。「オーダーキッチン」という言葉をまだ聞きなれていない人も多いかと思いますが、言い換えればあなたの為だけに作るオーダーメイドの世界にたった一つのキッチンです。

世の中が人と同じである・人並みであることに安心を感じた時代から、人と比較するのではなく自分自身を基準に他人に惑わされない価値観を持ち、自分を大切に「自分流」の時代へと変ってきたこともあり、このオーダーキッチンに注目する人が東京を中心に全国へ広まってきています。

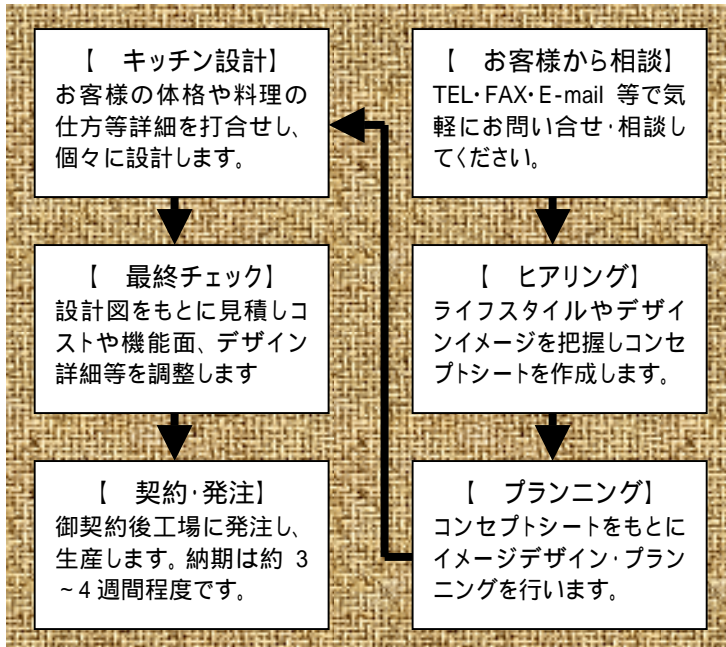
今回の『B STYLE』ではこのオーダーキッチン特集してキッチンライフを楽しむための情報を満載しました。

あなたも自分流のキッチンライフを楽しんでみませんか？きつとステキなスローライフを手に入れることができますよ。

自分流のキッチンライフを楽しみませんか？

オーダーキッチンができるまで

「オーダーキッチンを作る！」といっても、どうすればよいのかよくわかりませんね。スローライフでは楽しみながらカンタンに自分流のキッチンを作るために次のような流れで仕事をしています。



オーダーキッチンとシステムキッチンの特注品とどう違うのか？というと、システムキッチンはあくまで作り手であるメーカーが考えた既成のキッチンを使い手であるお客様が自分に合うように改造（特注）するものであり、これに対しオーダーキッチンはお客様自身が考えたものをプロと一緒に形にしていこうという根本的に異なります。世界に同じ人間がいないようにキッチンに対する価値観や使い方も千差万別だという考え方が基本にあります。

気になるのがコストですが「オーダーは高い！」というイメージは実は間違いで、お客様と工場がプランナーを介して直結しているため、メーカーや代理店、卸業者、小売店という流通が存在しない事とショールームやカタログもありませんからその分製品以外にかかるコストが削減できます。スローライフの実例では数十万円〜200万円程度のキッチンをオーダーされるお客様が多く、何例かはインテリア雑誌のキッチン特集に実例として掲載されています。

東京通信 VOL.13

倉野路凡（くらのろはん）

今回は東京ではなく横浜の話です。

最近、みなとみらい線が開通し、元町・中華街駅で降りればすぐに中華街に行けるようになった。

そこで先日、骨董市の帰りにふらっと寄ってみました。これが凄い人、人、人！あまりの人の多さに疲れ果て、たどりに着いたのが「酔仙酒家」。ラーメンとチャーハンをたらふく食べて、骨董屋さんの3階でコーヒーを飲んで、フッと一息。体力を充電しなおして再び雑踏へ。目指すは「悟空」というお店。

ここは2階が飲茶できるようになっていて、1階では中国茶や関連グッズなどを扱っている。そこで見つけたシルクの中着型小袋がなかなかよらしい。とってもオリエンタルなデザインで、見ているだけで気分はもうチャイナ。たしか1500円くらいでした。

さてさて、なかに何を入れようか？あれこれ考えて思いついたのが、去年貯めて、貯めてようやく買ったライカです。ライカのなかでも古いバルナック型の渋いやつ。中国のシルクと、ドイツ製の金属塊の組み合わせ。ライカをこんなやわらかな小袋に入れて人はまずいないだろうなあ。

やっぱり中華街は面白いものが見つかる。



横浜中華街にある『悟空』



シルクの中着袋とライカ

倉野路凡（くらのろはん）

【ファッションライター、コラムニスト】

1965年生まれ。宮津出身。モノマガジン、東京ウォーカー、週刊SPA!、ウォッチアゴーゴー（節約時計術/連載）、メモ男の部屋（ろはんの小引出し/連載）などライターとして活躍。